



## 平成 18 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 17 年 8 月 18 日

上場会社名 株式会社淀川製鋼所

(コード番号：5451 東証第 1 部、大証第 1 部)

(URL <http://www.yodoko.co.jp/>)

代表者 役職名 取締役社長 氏名 鈴木 鐸志

問合せ先責任者 役職名 上席執行役員 経理部長 氏名 寺田 剛尚 TEL (06) 6245 1113

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)

引当金の計上基準、法人税等の計上基準に一部簡便的な方法を採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

### 2. 平成 18 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (注)記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示している。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第1四半期	46,746	24.7	5,030	20.9	5,444	25.8	2,916	33.2
17年3月期第1四半期	37,494	-	4,161	-	4,327	-	2,189	-
(参考)17年3月期	176,682		19,312		19,579		7,517	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年3月期第1四半期	17	10	17	09
17年3月期第1四半期	12	69	-	-
(参考)17年3月期	43	06	43	04

(注)売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。  
なお、当社では前第1四半期より売上高、営業利益等を記載しているため、平成17年3月期第1四半期の売上高、営業利益等の対前年同四半期増減率につきましては記載しておりません。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	199,132	135,426	68.0	799 08
17年3月期第1四半期	186,062	129,587	69.6	751 15
(参考)17年3月期	201,039	134,575	66.9	785 36

### 3. 平成 18 年 3 月期の連結業績予想（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	94,000	9,700	2,500
通期	180,000	14,800	5,500

上記予想は、発表時現在において入手可能な情報及び計画に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の経済情勢等によって予想数値と異なる場合があります。

[ 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当第1四半期におけるわが国経済は、堅調な企業業績や潤沢な手元資金を背景に設備投資の増加基調が続いており、雇用・個人消費も緩やかに回復に向かうなど、底堅く推移しております。

このような状況のもとで、当期の課題である原材料価格の上昇に対応した販売価格の改定に取り組み、当社においては概ね順調に進展しておりますが、台湾子会社における販売価格は昨年下期以降横ばいで推移しており弱含みの状況にあります。販売数量につきましては、台湾子会社では同社が進めてきました北米向けへの輸出転換も本年に入り昨年の半減以下となりましたが、他地域への販売を進めた結果当初見込みの販売数量となりました。一方、昨年度実績並の販売数量を想定しておりました当社において、需給環境のタイト感の一服もあり、予想を下回る販売数量となり、売上高としましては、上期売上予想の50%を下回る467億46百万の実績となりました。

一方、利益面におきましては、平成17年3月期の決算発表時に開示しました平成18年3月期中間期の利益予想に対して、既に第1四半期において各利益段階で50%を上回る達成となっており、営業利益は50億30百万円、経常利益は54億44百万円、四半期(当期)純利益は29億16百万円となりました。これは、販売数量は予想を下回りましたが、一方、販売価格の改定は当初見込みを上回る順調さで進み、コスト面でも前期末の製品・材料の在庫によるコスト低減効果もあり、当初見込みに対して順調に推移しております。

[ 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等 ]

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ19億06百万円減少して、1,991億32百万円となりました。たな卸資産は25億94百万円増加しましたが、売掛債権が12億17百万円減少したことと、現金及び預金が29億83百万円減少したことが主な要因です。また、株主資本は、前連結会計年度末に比べ8億51百万円増加して、1,354億26百万円となりました。配当金の支払15億24百万円、自己株式の取得8億71百万円等により減少しましたが、主として当第1四半期の純利益29億16百万円の計上により増加となりました。この結果、株主資本比率は前連結会計年度末の66.9%から68.0%となりました。

[ 業績予想に関する定性的情報等 ]

昨年来の需給タイトの状況から、世界的に鉄鋼需給の調整期にはいっております。需要の伸び以上の供給能力の拡大であり、需要そのものの構造的な減少を意味するものではありませんが、その影響は当社においては販売数量の減少、台湾子会社においては販売数量の減少のみならず販売価格の伸び悩みとして現れており、連結売上高としましては中間期で940億円、通期では1,800億円を見込んでおります。

当期の連結業績予想としましては、中間期では第1四半期の流れもあり、営業利益は93億円、経常利益は97億円、中間(当期)純利益は25億円を見込み、当初予想比で増益を予定しておりますが、通期は下期での販売数量減の影響と販売価格の調整等の不透明要因を見込み、営業利益は142億円、経常利益は148億円、当期純利益は55億円と当初予想比微増益の見込みとしております。なお、中間期の営業利益・経常利益の増加に比べ中間(当期)純利益の増額幅が小さいのは、当初予想時よりも固定資産の減損に伴う特別損失の増加を見込んでいることによります。

添付資料

(要約)四半期連結貸借対照表、(要約)四半期連結損益計算書など

以上

**【参 考】**

平成 18 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（個別）

1．平成 18 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績（個別）の進捗状況

（注）記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示している。

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期（当期） 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年 3 月期第 1 四半期	27,836	23.1	2,941	47.7	3,303	43.2	1,990	39.0
17年 3 月期第 1 四半期	22,608	-	1,992	-	2,307	-	1,431	-
（参考）17年 3 月期	104,581		9,053		11,125		5,058	

	1 株当たり四半期 （当期）純 利 益		潜在株式調整後 1 株当たり 四半期（当期）純 利 益	
	円	銭	円	銭
18年 3 月期第 1 四半期	11	37	11	37
17年 3 月期第 1 四半期	8	11	-	-
（参考）17年 3 月期	28	45	28	44

（注）売上高、営業利益、経常利益、四半期（当期）純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。  
 なお、当社では前第 1 四半期より売上高、営業利益等を記載しているため、平成 17 年 3 月期第 1 四半期の売上高、営業利益等の対前年同四半期増減率につきましては記載しておりません。

(2) 財政状態（個別）の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株主資本比率	1 株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年 3 月期第 1 四半期	161,980	128,705	79.5	739 94
17年 3 月期第 1 四半期	158,806	126,381	79.6	715 58
（参考）17年 3 月期	166,713	129,540	77.7	738 03

3．平成 18 年 3 月期の業績予想（平成 17 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 3 月 31 日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
中 間 期	56,700	8,800	4,000
通 期	111,300	13,000	6,500

上記予想は、発表時現在において入手可能な情報及び計画に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の経済情勢等によって予想数値と異なる場合があります。

[ 添付資料 ]

1 .( 要約 ) 四半期連結貸借対照表

( 単位 : 百万円 )

科 目	当連結第 1 四半期末 (平成17年6月30日)	前連結第 1 四半期末 (平成16年6月30日)	増 減	前連結会計年度末 (平成17年3月31日)
	金 額	金 額	金 額	金 額
( 資 産 の 部 )				
流 動 資 産	[ 95,251 ]	[ 85,754 ]	[ 9,496 ]	[ 98,580 ]
現金及び預金	13,594	14,730	1,136	16,577
受取手形及び売掛金	43,798	36,143	7,655	45,016
たな卸資産	26,334	23,431	2,903	23,740
そ の 他	11,523	11,449	74	13,246
固 定 資 産	[ 103,881 ]	[ 100,307 ]	[ 3,573 ]	[ 102,458 ]
有形固定資産	66,886	68,502	1,616	65,910
無形固定資産	460	282	177	465
投資その他の資産	36,533	31,521	5,012	36,083
資 産 合 計	199,132	186,062	13,070	201,039
( 負 債 の 部 )				
流 動 負 債	[ 32,328 ]	[ 28,281 ]	[ 4,047 ]	[ 36,166 ]
支払手形及び買掛金	18,274	14,413	3,860	16,988
短期借入金	4,600	5,800	1,200	4,600
そ の 他	9,454	8,067	1,386	14,578
固 定 負 債	[ 16,041 ]	[ 15,365 ]	[ 676 ]	[ 16,374 ]
退職給付引当金	7,497	7,039	457	7,382
そ の 他	8,543	8,325	218	8,992
負 債 合 計	48,370	43,646	4,723	52,541
( 少 数 株 主 持 分 )				
少 数 株 主 持 分	[ 15,336 ]	[ 12,828 ]	[ 2,507 ]	[ 13,922 ]
( 資 本 の 部 )				
資 本 金	23,220	23,220	-	23,220
資 本 剰 余 金	23,349	23,220	128	23,221
利 益 剰 余 金	87,627	81,854	5,773	86,299
土地再評価差額金	872	876	3	871
その他有価証券評価差額金	8,009	7,332	677	8,335
為替換算調整勘定	2,094	2,942	847	2,686
自 己 株 式	5,559	3,974	1,584	4,687
資 本 合 計	135,426	129,587	5,839	134,575
負債、少数株主持分及び資本合計	199,132	186,062	13,070	201,039

## 2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	当連結第1四半期 (17.4.1~17.6.30)	前連結第1四半期 (16.4.1~16.6.30)	増 減		前連結会計年度 (16.4.1~17.3.31)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売 上 高	46,746	37,494	9,252	24.7	176,682
売 上 原 価	37,698	29,532	8,166	27.7	140,506
売上総利益	9,048	7,961	1,086	13.6	36,175
販売費及び一般管理費	4,017	3,800	217	5.7	16,863
営業利益	5,030	4,161	869	20.9	19,312
営業外収益	515	392	123	31.4	943
営業外費用	101	226	124	55.1	676
経常利益	5,444	4,327	1,117	25.8	19,579
特別利益	20	28	8	29.3	136
特別損失	22	53	30	57.1	2,627
税金等調整前 四半期(当期)純利益	5,442	4,303	1,139	26.5	17,088
法人税等	1,747	1,378	369	26.8	6,477
少数株主利益(減算)	778	735	42	5.8	3,093
四半期(当期)純利益	2,916	2,189	726	33.2	7,517